



くろちゃんだより



新年おめでとうございます。

こうしてまた新しい年を迎えられましたこと、皆様のご指導、ご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

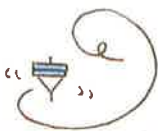
弊社は今年で創業95年、引き続き「感恩報謝」の精神で、地域社会、お客様のお役に立てるよう精進して参ります。

本年もお引き立てのほど、何卒宜しく願ひいたします。

今年一年の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



石黒商事株式会社 代表取締役社長 石黒義啓



2023年に予定されている出来事・イベント

- ・1月10日:「全国旅行支援」再開
- ・2月21日:東京上野動物園のパンダ「シャンシャン」が中国に返還
- ・3月5日:「東京マラソン2023」開催
- ・3月8-21日:野球「第5回ワールド・ベースボール・クラシック(wBC)」開催
- ・4月1日:こども政策の推進「こども家庭庁」設立
- ・4月8日:日銀黒田東彦総裁の任期満了
- ・4月9日・23日:統一地方選挙投票日
- ・5月19-21日:G7(主要国首脳会議)広島サミット開催
- ・6月9日:天皇皇后両陛下ご結婚30周年
- ・7月:宮崎駿監督の映画「君たちはどう生きるか」公開
- ・8月19日-27日:「世界陸上2023ブダペスト」開催
- ・9月8日-10月28日:



2023年の干支「癸卯(みずのと・う)」

「癸(みずのと)」は静かで温かい大地を潤す恵みの水を表し、十干の最後にあたるため、生命の終わりとなつた新たな生命の成長という意味を持っています。

また「卯(う)」は穏やかなウサギの様子から安全、温和の意味を持ちます。

他にもウサギのように跳ね上がるという意味があり、何かを開始するのに縁起がよく、物事が好転する良い年になると言われています。

そのため「癸・卯(みずのと・う)」は、今までの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年だとされています!



- 「ラグビーワールドカップ2023フランス」開催
- ・10月1日:「インボイス制度」開始
「インボイス(適格請求書)」を用いて仕入税額控除を受けるための制度



<その他年内に予定されている出来事・イベント>

- ・文化庁本庁が京都へ移転
- ・4月までに食品7,000品目超値上げ
- ・東京池袋としまえん跡地に新テーマパーク「ワーナーブラザーズ スタジオツアー-東京メイキング・オブ ハリー・ポッター」開業

石黒商事(株)『LINE公式アカウント』



友達募集中!

お得な情報を配信しています♪



石黒商事(株) 公式Instagram

地域の魅力を発信しています!

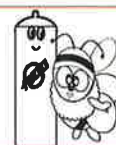
「いいね!」「フォロー」おねがいします。

https://www.instagram.com/ishiguro_inc



石黒商事(株) 東濃エネルギーセンター

〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口705-4 TEL:0572-55-2169 Fax:0572-55-2173





ももちゃんの暮らしきらめく豆知識!

幸せを呼ぶ日本のならわし

- 節分 -

2月3日(金)



旧暦では、立春が1年の始まりとされていたのでその前日である「節分」は今でいう大晦日のことを指すようになり、1年の邪気や悪いものを祓い清めた状態で、新しい1年を迎える儀式として重要な意味がありました。

●豆まき

節分の当日は日が暮れるまでに豆を炒り、鬼が来ると言われている夜になると「豆まき」をスタートします。

玄関から1番遠い部屋から順に、玄関の方向へ向かって豆を撒いていきます。「鬼は外」と言いながら部屋の外に向かって2回豆をまき、ドアから部屋の外に出ると、次は「福は内」と言いながら部屋の中に向かって2回豆をまきましよう。



●福豆・福茶

豆まきが終わったら、1年の厄除けを願い、自分の年齢よりも1個多く豆を食べましょう。この豆は「年取り豆」といい、家族全員で食べましょう。豆が苦手な人や、数が多くなってしまう人は、代わりに「福茶」を飲みましょう。作り方は福豆を吉数の3粒入れ、さらに縁起担ぎの昆布や塩昆布、梅干しなどを入れて熱湯を注ぐだけ、簡単に作れるのでオススメです。



●恵方巻

恵方(その年の、おめでたいとされる方角)を向き、切っていない太巻き寿司を、願い事をしながら無言で最後まで食べます。太巻きの具は「七福神」にあやかり、また福を巻き込むという意味も含めて、7種類の具を入れるのがよいとされています。

また、太巻き寿司は鬼が忘れていった金棒という見立てもあるようで、食べる=鬼退治という意味合いもあるようです。

ちなみに2023年の恵方は「南南東」です。



●いわしの飾り(やいかかし)

鬼は、いわしの生臭いにおいと、ヒイラギの痛い棘が苦手だとされています。そこで、「節分」には焼いたにおいを強くしたいいわしの頭をヒイラギの枝に刺した飾りを、玄関先に飾るという風習があります。「いわしの頭も信心から」ということわざは、この風習から生まれました。

●美濃加茂市周辺には「鬼の十三月」という風習があります。戸口や玄関に十三月とかいたお札を貼ると、「十三月?」と鬼が考え込み、その間に夜がふけてしまうことを狙ったのだそうです。

※節分の行事は地域によって多少違いがあります。

おもな参考文献:

「12か月のしきたり」新谷尚紀著(PHP研究所)

くろちゃん川柳倶楽部からのお知らせ

「こたつ」をテーマにした川柳を募集中!!



川柳詠んで冬の暮らしを楽しみましょう!心のゆとりが生まれます。皆様の作品をお待ちしております。



<応募先> 葉書又はfaxをお願いします。

「氏名・住所・年齢・電話番号」をご記入の上

〒509-5122 土岐市土岐津町土岐口705-4

石黒商事(株)東濃エネルギーセンター

くろちゃん川柳倶楽部 担当 三浦・井戸

Tel:0572-55-2169 Fax:0572-55-2173



●「こたつ」をテーマにした川柳応募締切
令和5年2月末日(当日消印有効)

「こたつ」がテーマの川柳作品紹介

- 四世代 コタツに笑顔の花が咲く 美恵子さん
- こたつ中 足先で交わす ラブサイン 孝子さん
- 冬が来て 体まるめて こたつむり 里山のりちゃん
- 幸福を こたつで感じる 我が家かな KUさん
- 入ったら 二度と出られぬ こたつです カズカズさん

花粉症の予防・緩和に、ぜひ摂りたい食材!

東洋医学での花粉症対策

(1)花粉を侵入させない

花粉が体内に侵入する経路には、目や鼻、口以外に、「皮膚」もあります。皮膚が荒れていたり、乾燥していたりすると、花粉が侵入しやすくなるのです。そこでまず心がけたいのが、皮膚の乾燥を防ぐこと。そのためのお勧めの食材は、ナッツ類、ごま、ハチミツなどです。その他、目や鼻、口などの粘膜を強くすることも、花粉の侵入を防ぐ上で大切です。食材としては、ニンジン、カボチャ、ハチミツ、発酵食品などがお勧めです。



(2)花粉がすでに体内に侵入してしまった場合

溜めずに、速やかに体外に排出することが最善の対策法になります。具体的には、花粉の持つ「毒」を解毒し、便や尿を通じて、体から出していくことです。食材には、春先や春が旬の緑色の野菜(キャベツ、菜の花、ブロッコリー、セリなど)や山菜、シソ、緑豆もやし、豆類などがあります。一方、お通じや利尿作用をよくするものとしてオススメなのが、きのこ類、豆類、ゴボウ、コンニャク、バナナ、ナッツ類、ごま、海藻類などです。

(3)アレルギー反応をゆるめていくこと

炎症を抑える効果が期待できるものとして、山菜、パクチー、ゴボウ、豆腐、あさり、しじみなどが挙げられます。

参考:ウエザーニュース <https://jp.weathernews.com/>